学校名	鼎小学校
ホームページＵＲＬ	児童・生徒数　　名

(1) テーマ
生き物いっぱいの楽しいビオトープを
つくろう

テーマの分類（　①ーウ　）

(2) 活動の単位に○をつけてください

学級・同一学年・３～４年
５～６年・学校・
その他（　　）
該当学年　　４　年 他
（回答可能な場合）

(3) 活動のねらい
様々な生き物が共存するビデオトープ作りを課題を克服しながら進めることにより、命あるものへの愛着を深め、豊かな心情を育むと共に、環境問題を視野に入れて、生き方を考えることのできる子どもをめざす。

(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）
・４年２組の活動として、ビオトープの整備、地域の昆虫、魚、野菜等の運び入れ、ホタルの幼虫等の観察と住み良い環境づくり、ネイチャーゲームによる自然体験、市の「環境まつり」での発表、俳句表現他。
・全校の活動として、「発見カード」「ビオトープ新聞」づくり等。
時数（　２０）

(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）
・学級担任と理科担任が、ＴＴの形で、共に総合学習を指導する。
・自然観察インストラクターや地域の方からホタル等のことや、昔の地域の自然、川の汚れやゴミ問題について教えていただく。
・危険性のある生き物について予備知識を与えたり、野外の状況を把握しておく。

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）
＜時間数＞　鼎タイム（１５）理科（３）道徳（２）
＜各教科との連携＞　理科の単元「生き物ののくらし」、道徳「自然愛護」
＜家庭・地域との連携＞　学級だより、理科だよりで紹介、全校保護者より草木の寄贈、親子活動

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）
めあてを自分で見つけだし、自分なりの方法で、生き物への願いをこめて精一杯活動したり､考えを深めたりできると共に、自分の問題として、さらに次の活動に発展させていこうとする姿、記録、自己評価カード

(8) 成果と課題
・ゲンジボタルの幼虫他様々な命との感動ある出会いや発見を通じ、自然や生き物を心か大切と思う心情が育っている。その気持ちが環境を守ろうという意志を生む。
・全校の活動としての広がりや家庭・地域の方々の協力など、ビオトープ作りを通して全校、地域を視野に入れた総合学習を願っている。

※テーマの分類　①横断的・総合的な課題（①ーア　国際理解　①ーイ　情報　①ーウ　環境　①ーエ　福祉・健康　①ーオ　その他）　②児童生徒の興味・関心に基づく課題　③地域や学校の特色に応じた課題